

2004年12月6日23時15分頃の根室半島南東沖の地震について

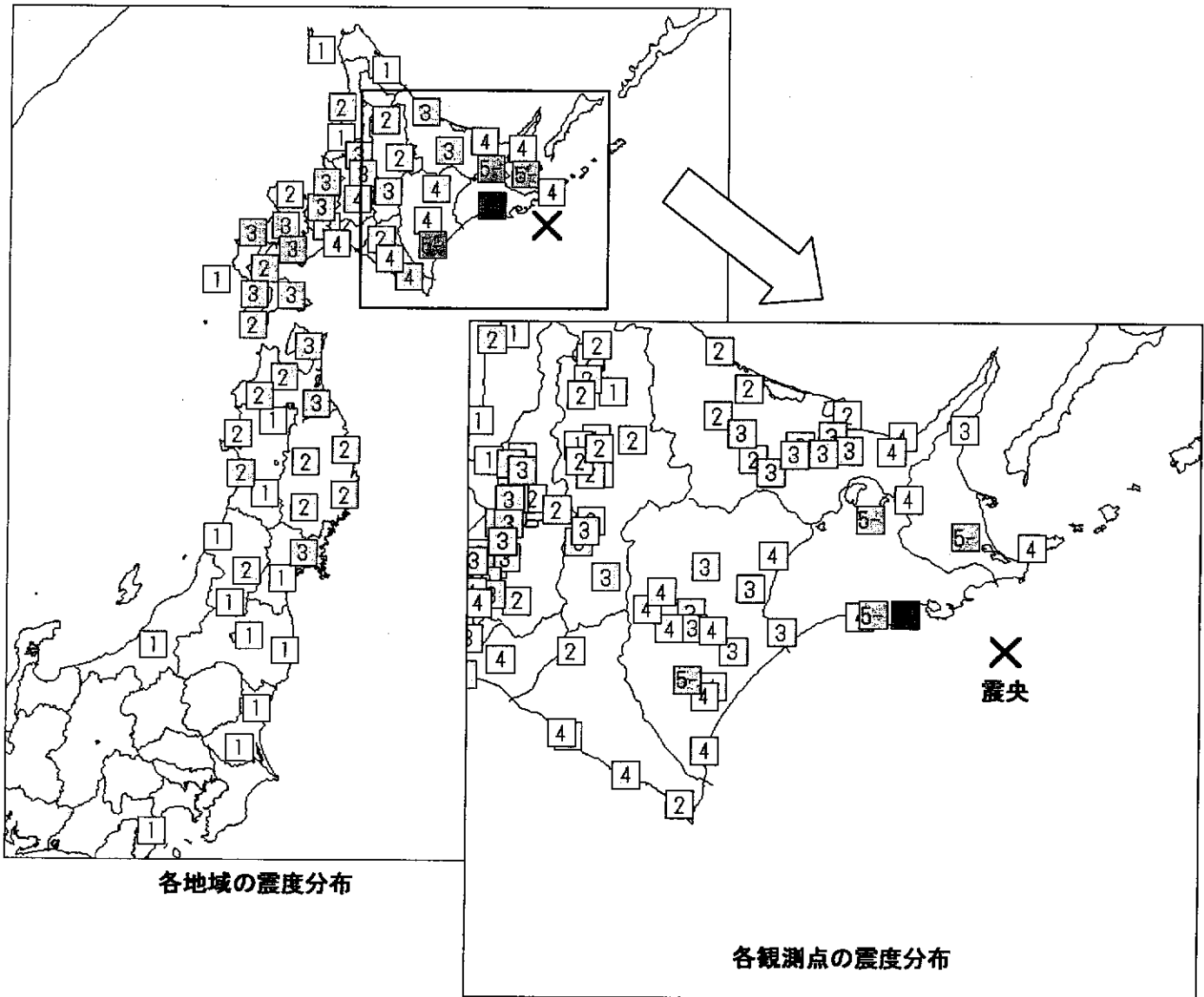
12月6日23時15分頃、根室半島南東沖を震源（深さ約46km）とするマグニチュード（M）6.9（暫定値）の地震が発生しました。この地震により23時20分に北海道太平洋沿岸東部に、「津波注意」の津波注意報を発表しました。

その後、23時55分に北海道太平洋沿岸東部に発表していた「津波注意」の津波注意報を解除しました。7日00時30分現在、津波は観測されていません。

この地震により、北海道の厚岸町で震度5強、釧路町、弟子屈町、更別村、別海町で震度5弱を観測したほか、北海道地方、東北地方、関東地方にかけて震度1から4を観測しました。

この地震のメカニズムは、北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層タイプで、プレート境界で発生した地震と考えられます。

この地震の震源付近では11月29日にM7.1の地震が発生しています。

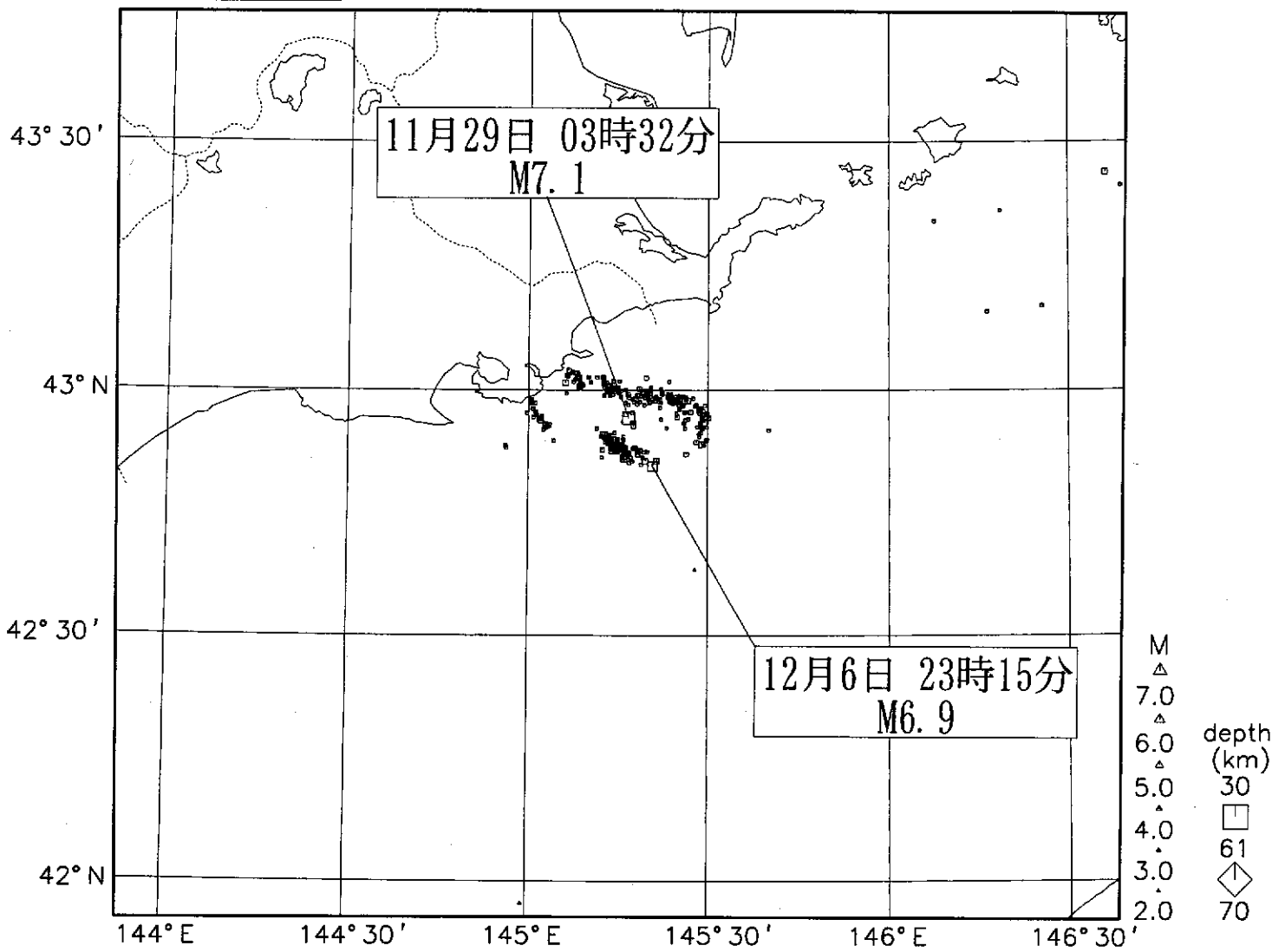


本年11月29日以降の地震活動

2004 11 29 00:00 -- 2004 12 06 24:00

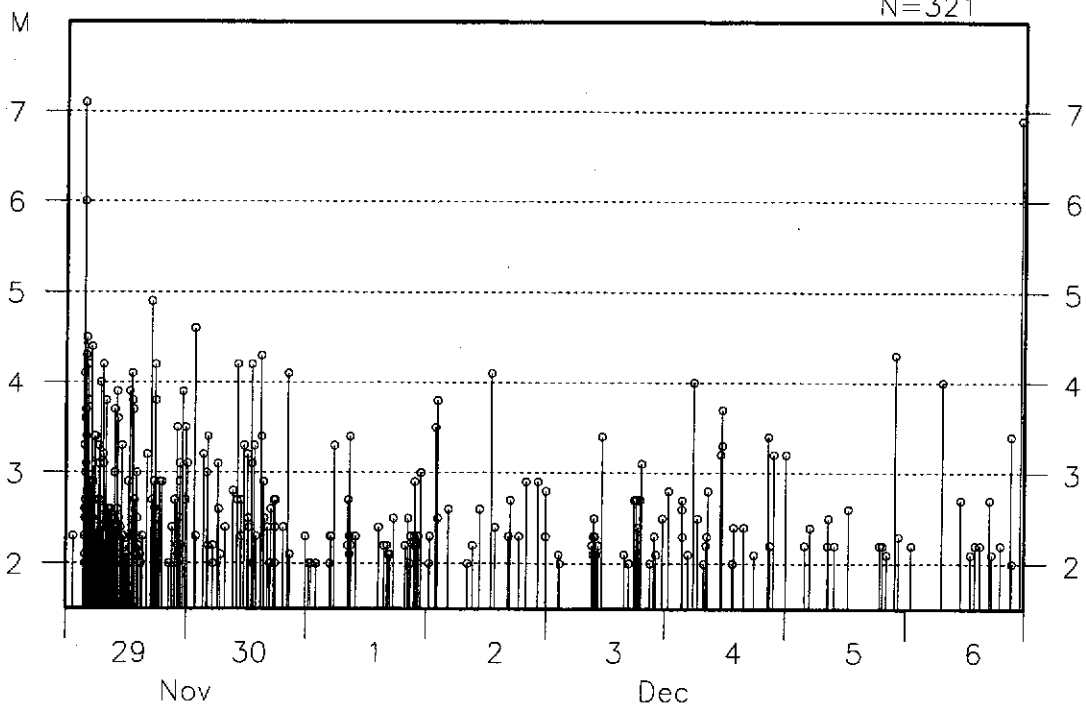
50km

N=321 file:ZANTEI,WR



2004 11 29 00:00 -- 2004 12 06 24:00

N=321



2004/12/06 23:15:11.8

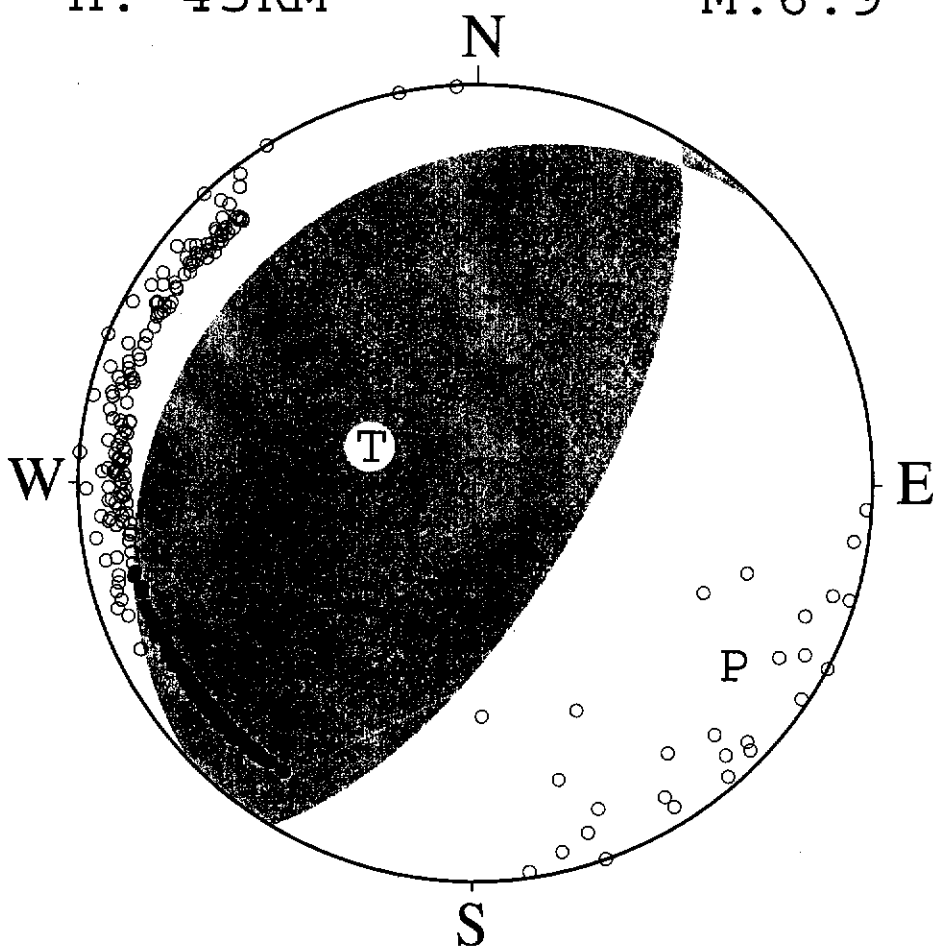
釧路沖

42°50.7'N

145°20.8'E

H: 45KM

M: 6.9

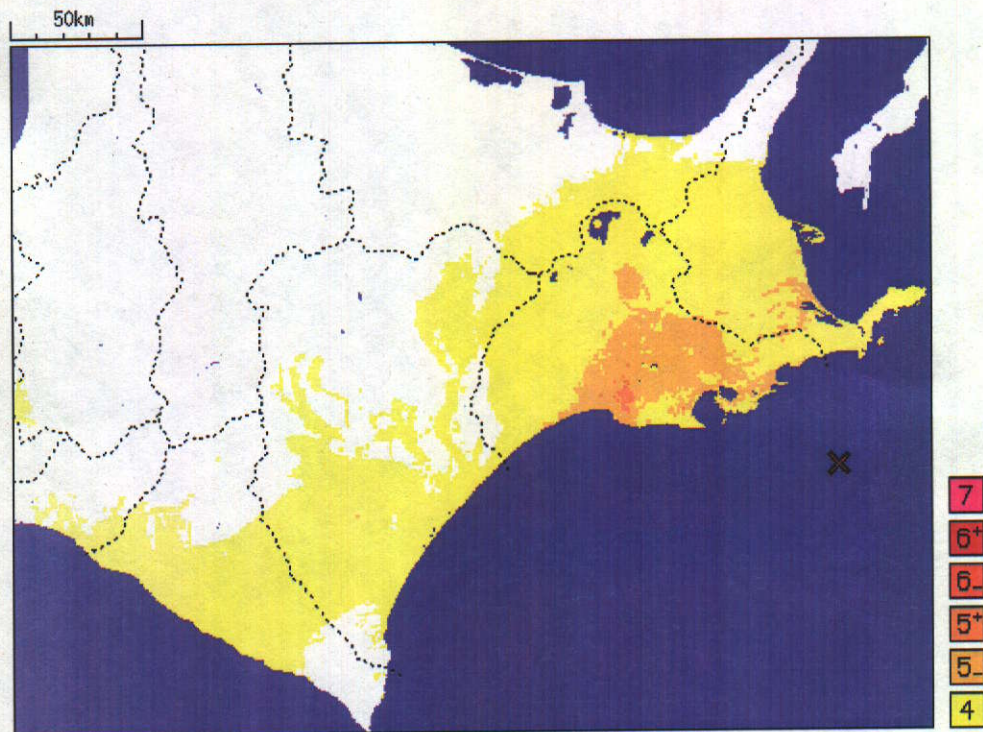


北西-南東に圧力軸をとつ
逆断層型

(11月29日のM7.1と同じ型)

(下半球等積投影)

2004年12月6日23時15分頃の根室半島南東沖の地震（M6.9 深さ46km）の推計震度分布図



【解説】

この地震により、北海道の根室、釧路支庁を中心に5弱の地域が広がっており、釧路平野で5強の分布が見られます。

これらの地域では、物が倒れたり、ガラスが割れるなどの被害の発生が想定されます。

<推計震度分布図利用の留意事項>

個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な拡がり具合とその形状に着目してご利用下さい。